

# オオハマボウ

か めい  
科名 アオイ

がくめい  
学名 Hibiscus tiliaceus

べつ めい  
別名 ユウナ、ヤマアサ



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分布 かごしま たねがしま やくしまいなん おきなわ  
鹿児島 (種子島・屋久島以南)、沖縄、  
おがさわら  
小笠原

は かたち  
葉 の 形 ハート形<sup>がた</sup>

は ふち  
葉 の 縁 ぜんえん きよし  
全縁、鋸歯

は さき  
葉 の 先 えいせんけい  
鋭尖形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は きふ がた  
葉 の 基部 ハート形

み しゆるい さくか  
実 の 種類 蒴果

はな がくいろ きいろ  
花・萼色 黄色

せい  
めい  
明 かいがん さでいち は じょうりよく しょうこうぼく たか くらい は まる  
海岸の砂泥地によく生える常緑の小高木で、高さ5-10m位になります。葉は丸いハ  
ート型<sup>がた</sup>で先はやや尖<sup>とが</sup>っています。葉の縁は全縁または細かいギザギザ<sup>きよし</sup> (鋸歯) があり表面は  
こうたく ちよつけい くらい まる きいろ はな  
光沢があります。直径10 cm位の丸くて黄色い花をつけます。